

変更理由書

(発注担当課：下水道施設課)

- 1 工 事 名 : 6-2 公共 (補) 污水管渠築造工事
- 2 工事場所 : 上尾市大字中新井地内
- 3 工 種 : 土木一式工事
(建設業法上の29分類)

4 変更契約内容

	変 更 前	変 更 後
工 期	令和 6 年 6 月 1 1 日から 令和 6 年 1 2 月 6 日まで	令和 一 年 一 月 一 日から 令和 一 年 一 月 一 日まで
契 約 金 額 (税 込)	39,045,600円	37,301,000円
工 事 概 要	ライナープレート設置 (φ1500) : 11.5m 側溝撤去・復旧 : 16.0m 取付管工 : 10箇所	ライナープレート設置 (φ1500) : 13.0m 側溝撤去・復旧 : 13.7m 取付管工 : 9箇所

5 変更理由

<p>本工事において発注後の調査・調整により、下記事由の通り数量の増減が生じるため、変更する。</p> <p>1. ライナープレートの天端高さについて 当初、覆工板の設置により土砂の立坑内への流入は防ぐことが出来ると想定し、ライナープレートの天端高さは、地盤から-200mm から-310mm の範囲で設計した。しかし、請負業者との協議において、当初設計のまま施工した場合、土砂は覆工板の開閉に伴い立坑内に流入し、段差の原因や推進工事の支障となり、施工性の悪化や安全性の低下に繋がる恐れがあるということであった。ライナープレートの天端高さを地盤高から覆工板の厚さ分 (19mm) だけ下げた位置に設定することで土砂の立坑内流入を防ぐことが出来ると判断したため、ライナープレート設置高さを変更する。 ライナープレート設置 (φ1500) : +1.5m</p> <p>2. 側溝撤去・復旧について 契約締結後の現地調査により、人孔 No. 142-2-1 の設置位置を当初計画から調整することで側溝撤去が不要となったため、施工延長を減とし変更する。 側溝撤去・復旧 : -2.3m</p> <p>3. 取付管について 地権者の意向により、本路線で計画していた取付管について将来土地利用計画が確定していないことから、1 箇所減とし変更する。 取付管工 : -1 箇所</p> <p>4. 舗装版切断工の単価について 当初設計書において一部 (18.0m)、舗装版切断工の単価に誤謬があったので訂正し変更する。 当初 : 70,471 円/m 変更 : 704.71 円/m (直接工事費)</p> <p>以上の結果、減額する。</p>
